

輪読会のご案内

長年私は嚥下障害の患者さんに関わってきましたが、“鼻咽腔閉鎖不全”の患者さんの治療が進められずに苦慮しておられる(長崎県内を問わず山口、福岡、熊本など)各地の ST さんから数多くの相談を受けてきました。その問題点は PLP や PAP を製作できる歯科医が見つからないという現実でした。

今回、本テキスト(館村先生の著書)の発刊を機に、“鼻咽腔閉鎖不全”の治療の普及に一役果たしたいと考えてこのような輪読会を企画してみました。皆様のご参加をお待ちしています。

1冊のテキストを1年通して読み通す勉強会で、テキストは世界に類書の無い鼻咽腔閉鎖不全の治療法に関する書籍です。ST、歯科関係者に最適です。

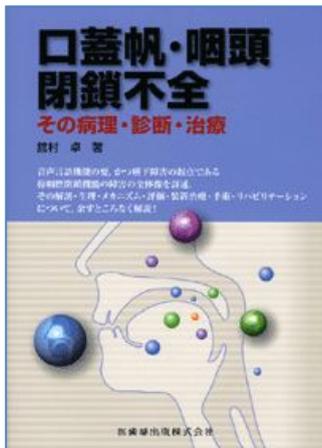
(長崎嚥下リハビリテーション研究会代表 山部一実)

●口蓋帆・咽頭閉鎖機能(いわゆる鼻咽腔閉鎖機能)velopharyngeal function は、口蓋帆によって口腔と鼻腔を閉鎖もしくは狭小化する機能で、ヒト固有のものである。この口蓋帆・咽頭閉鎖機能によって、speechにおいては、構音運動 articulation のためのエネルギーである口腔内圧が産生されるとともに、声 voice に特徴が与えられる。

●さらに近年、嚥下障害の臨床が重要視されてきているが、口蓋帆・咽頭閉鎖機能は、食物嚥下時の口腔期から咽頭期への移行段階を担い、この段階での調節不全が誤嚥の起点となることも示されるようになり、その重要性が明らかになりつつある。

●しかしながら、口蓋帆・咽頭閉鎖機能については米国でも確たる書籍はない。それは、動物実験ができないことや臨床テクニックが生理学に裏づけされている必要があるため、この領域の研究者・臨床家が世界的にも少ないことに原因がある。本書は、この領域における研究と臨床のトップランナーである著者らの筆によるもので、類書はない。

●嚥下・音声機能に関わる医療従事者(言語聴覚士、リハ医、耳鼻咽喉科医、歯科医など)に最適な書。(医歯薬出版のHPから引用)



開催日	毎月 第一木曜日 19:15~20:45
場所	耀光リハビリテーション病院 会議室
会費	毎回 資料代 500円
テキスト	館村卓著「口蓋帆・咽頭閉鎖不全～その病理・診断・治療」医歯薬出版 2012 (希望者にはまとめて購入します)
申込方法	本申込書または当サイトのHPから http://www.swallow-web.com

参加申込書 (FAX:03-6893-8826)

受講希望者のお名前	
職種	
勤務先	
連絡先	
固定電話 又は ケイタイ	(必ず記載)
テキスト希望の有無	テキスト希望あり() 希望ナシ()